スカイワードあさひ　**天体観測室**

星の広場

〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850　FAX 0561-52-1851

2023年 10月

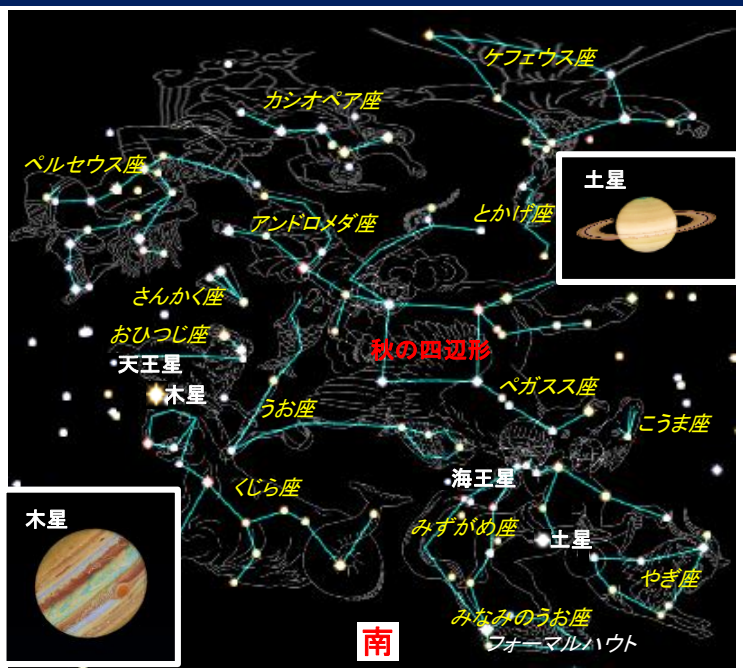
１０月の観望天体

ギリシャ神話！古代エチオピア王国の物語

秋の星座には、古代エチオピア王国にまつわる神話の世界が広がっています。

『王様ケフェウスと王妃カシオペアには美しい娘アンドロメダ姫がいました。王妃カシオペアがアンドロメダ姫の美しさを自慢しすぎために、海の神ポセイドンを怒らせ、大津波が起こります。災害をおさめるために、アンドロメダ姫は海岸の岩に鎖でつながれ、海の怪獣、お化けくじらティアマトのいけにえにされます。そのとき、天馬ペガススにまたがった勇者ペルセウスがアンドロメダ姫を助けました。その後、二人はめでたく結婚しました。』

「秋の四辺形」から、秋の星座をさがしてみましょう。



１０月の夜間観望会

日曜日　18:30～19:30

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合もあります。
　スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
１日	**月齢16の月、土星、球状星団M15** など 球状星団M15は天馬ペガススの鼻先にある星の集まり。
８日	**土星、フォーマルハウト、M15** など 秋のひとつ星と呼ばれるみなみのうお座のフォーマルハウトは秋の星座で唯一の1等星です。
１５日	**土星、海王星、球状星団M15** など 海王星は太陽系で最も外側を回るガスと氷の惑星。青い色をしています。
２２日	**月齢8の月、土星、海王星、アルマク** など アンドロメダ座のアルマクはアンドロメダ姫の足元の2重星。

※29日は第5日曜日のため開催しません。

１０月の太陽観望会

黒点やプロミネンスなどの太陽活動をＨαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

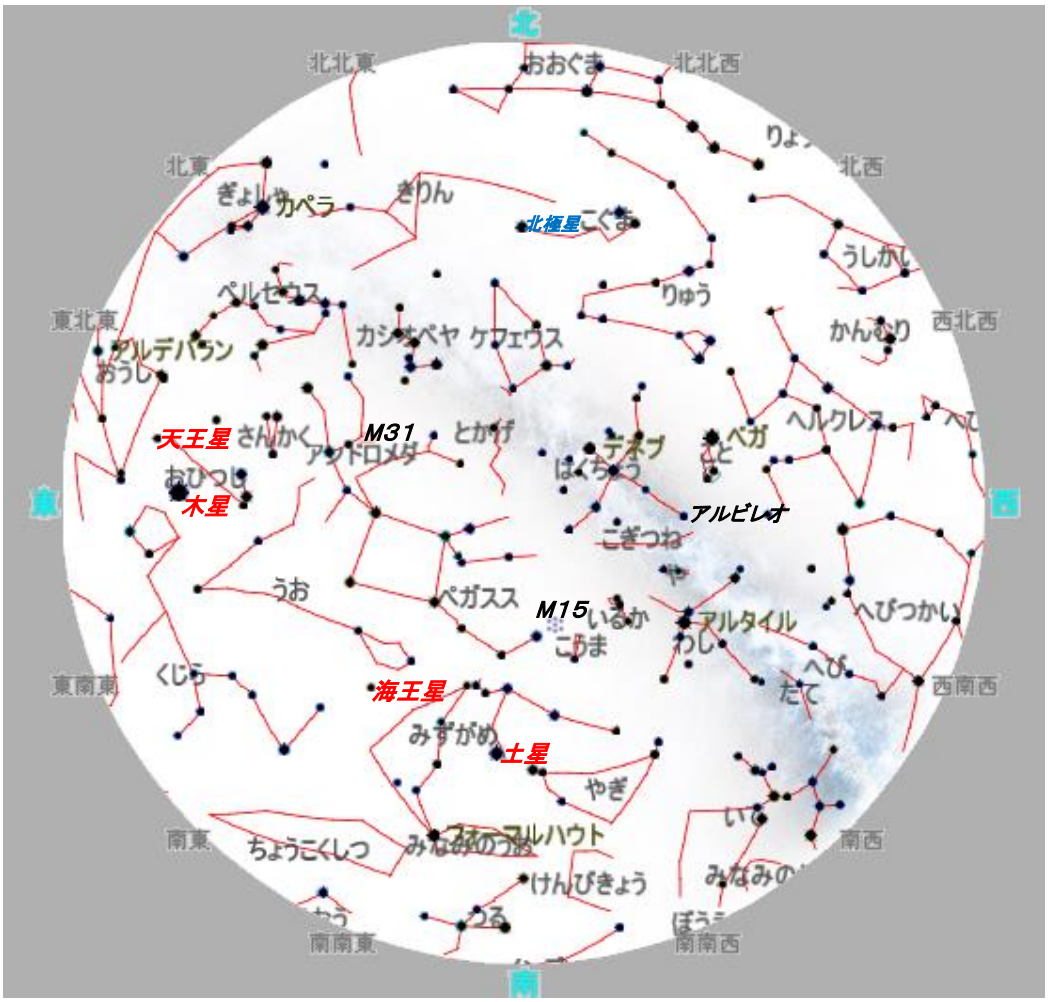
火・土・日曜日、祝日
10日(火)、22日(日)は休み

10:00～12:00
13:00～15:00

１０月の星空

土星・海王星を見よう！

2023年10月15日　午後7時



１０月の惑星

水星	見られません
金星	明け方東の空
火星	見られません
木星	夜中の東の空
土星	宵の南の空
天王星	夜中の東の空
海王星	宵の東の空

水星は10月20日に外合しますので、見られません。「明けの明星」の金星は、10月24日に西方最大離角となります。

火星は10月18日に地球からの距離が最も遠くなります。

木星は11月3日に衝となります。夜中には東の空から上り、観望できるようになります。

土星は11月28日に東矩となります。宵空に明るく輝き、観望好機が続いています。

天王星は11月14日に、海王星は9月20日に衝となり、見ごろを迎えます。

日	曜	月齢	１０月の主な天文現象
1	日	16.4	
2	月	17.4	
3	火	18.4	
4	水	19.4	
5	木	20.4	
6	金	21.4	**下弦の月**
7	土	22.4	
8	日	23.4	（寒露）
9	月	24.4	（スポーツの日） 10月りゅう座流星群極大
10	火	25.4	
11	水	26.4	
12	木	27.4	
13	金	28.4	
14	土	29.4	
15	日	0.8	**新月**

9日　10月りゅう座流星群が極大

母天体はジャコビニ・チンナー彗星です。極大は9日の午後4時ごろの予想です。夜は月明かりはなく、よい観望条件です。

29日　部分月食

29日の明け方、西の地平に沈む直前の満月が地球の影に少しだけ入る部分月食が見られます。月食の始まりは午前4時34分、食の最大は午前5時14分、終わりは午前5時54分です。

日	曜	月齢	１０月の主な天文現象
16	月	1.8	
17	火	2.8	
18	水	3.8	火星が最遠
19	木	4.8	
20	金	5.8	水星が外合
21	土	6.8	
22	日	7.8	**上弦の月**　オリオン座流星群極大
23	月	8.8	
24	火	9.8	（霜降）　金星が西方最大離角
25	水	10.8	
26	木	11.8	
27	金	12.8	**十三夜（後の月）**
28	土	13.8	
29	日	14.8	**満月（部分月食）**
30	月	15.8	
31	火	16.8	

22日　オリオン座流星群が極大

オリオン座流星群は速度が速く明るい流星や光の痕跡を見やすい流星群です。極大は22日の午前9時ごろです。

・スカイワードあさひ
・天体観測室

星の広場

〒488-0883尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850　FAX 0561-52-1851

１０月の観望天体

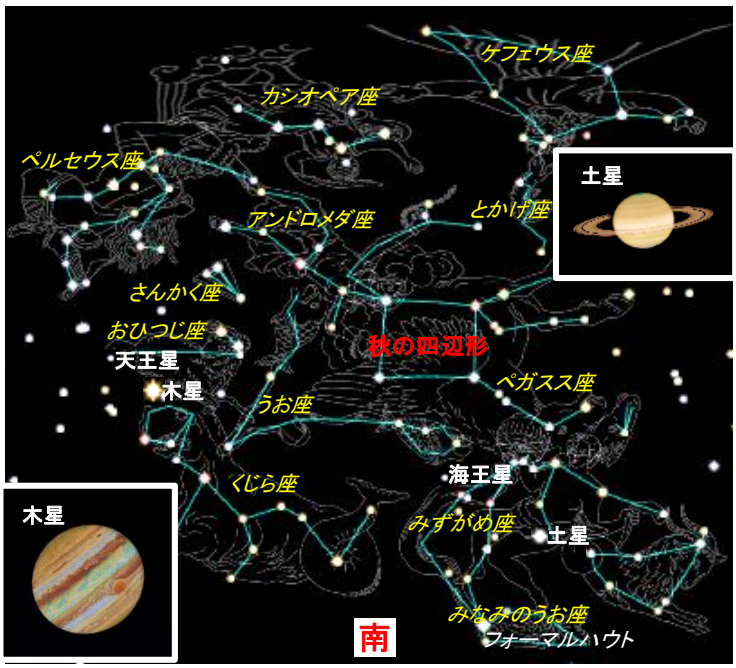
ギリシャ神話！古代エチオピア王国の物語

秋の星座には古代エチオピア王国にまつわる神話の世界が広がっています。「秋の四辺形」から、秋の星座をさがしてみましょう。

10月の夜間観望会のおしらせ
日曜日18:30～19:30

開催日	主な観望天体
１日	**月齢16の月、土星、球状星団M15** など 球状星団M15は天馬ペガススの鼻先にある星の集まり。
８日	**土星、フォーマルハウト、M15** など 秋のひとつ星と呼ばれるみなみのうお座のフォーマルハウトは秋の星座で唯一の1等星です。
１５日	**土星、海王星、球状星団M15** など 海王星は太陽系で最も外側を回るガスと氷の惑星。青い色をしています。
２２日	**月齢8の月、土星、海王星、アルマク** など アンドロメダ座のアルマクはアンドロメダ姫の足元の2重星。

※29日は第5日曜日のため開催しません。

～ご注意～
※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合もあります。スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

10月の太陽観望会のおしらせ
毎週火・土・日曜日、祝日
（10日（火）、22日（日）は休み）
午前の部10:00～12:00
午後の部13:00～15:00